

PFS/SIB実務者セミナー 事後アンケート結果概要

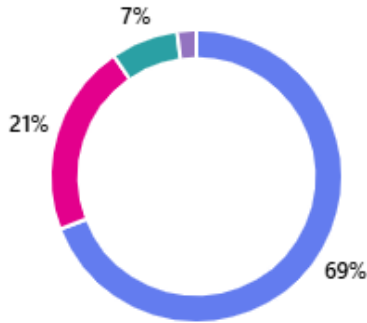
アンケート実施概要

◆ 回答件数

94件

◆ 回答者所属種別

地方公共団体：69%
 民間事業者：21%
 金融機関：7%
 その他：2%



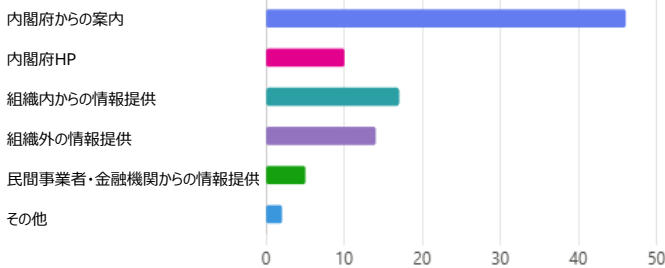
◆ アンケート設問

- Q1：所属情報
- Q2：回答者の事前知識、経験
- Q3：シンポジウム開催を知った情報源
- Q4：参加の動機
- Q5：PFS/SIBの検討状況、課題
- Q6：関心のある事業分野
- Q7：取り上げてほしいテーマ・内容
- Q8：意識の変化
- Q9：Q8の回答理由
- Q10：意見・感想

アンケート結果

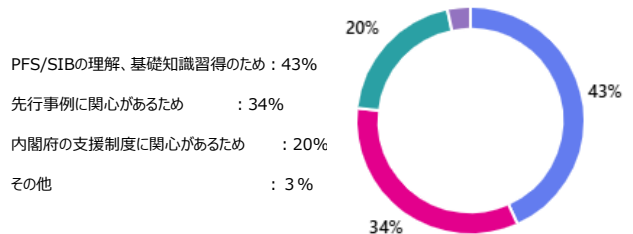
シンポジウム開催を知った情報源 (n=94) ※複数回答可

「内閣府からの案内」が最も多く、次いで「組織内からの情報提供」が多い。



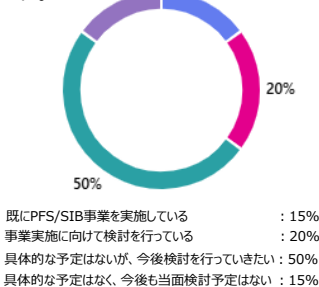
参加の動機 (n=94) ※複数回答可

「PFS/SIBの理解、基礎知識習得のため」が最多であり、多くの参加者が理解醸成段階であると考えられる。



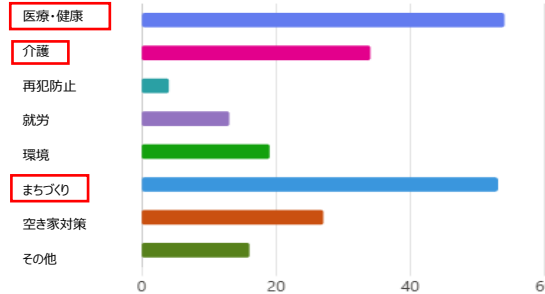
PFS/SIB検討状況 (n=94)

具体案件の無い参加者が多いが、PFS/SIB実施に向けた意向は高い。



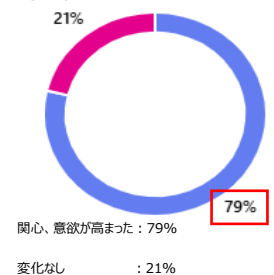
関心のある事業分野 (n=94) ※複数回答可

「医療・健康」への関心が最も高く、次いで「まちづくり」や、比較的先行事例の多い「介護」への関心も高い。



意識の変化 (n=94)

8割近い参加者においてPFS/SIBに対する関心、意欲の変化が生まれている。



取り上げてほしいテーマ・内容 (n=94) ※複数回答可

ロジックモデルや成果指標の選定等の実務に関する意見が多く、次いで「PFS/SIBにおける先進事例の紹介」が多い。



自由記述 (意識変化の理由/全体を通じての意見・感想)

今後も継続的な事例提供や普及啓発を希望するといった要望が多い結果となった。

- ◆ 基調講演を通じて、PFSに親和性のある事業や成果指標の設定について、理解を深めることができた。また、セミナー後に、庁内での案件形成の進め方について議論するきっかけとなった。
- ◆ 事業に携わった経験があったが、本セミナーで指標の設定方法や留意点等を言語化していただいたので、改めて理解が進んだ。
- ◆ PFSは手段であること、アウトプットとアウトカムのイメージができた。
- ◆ 目的達成のための効率的かつ効果的な方法だと思った。
- ◆ ロジックモデルの検討過程の例示は大変参考となった。
- ◆ 事例の紹介は今後もぜひとも進めていただきたい。